

[実施方針]

- ①直轄土木業務・工事におけるBIM/CIM適用に関する実施方針
- ②同解説
- ③別紙1 設計図書作成の基となった情報の説明(例)
- ④別紙2 BIM/CIM適用業務実施要領
- ⑤別紙3 BIM/CIM適用工事実施要領
- ⑥別紙4 BIM/CIM(統合モデル)管理支援業務実施要領

[様式・記載例]

- ⑦BIM/CIM実施計画書
- ⑧BIM/CIM実施報告書
- ⑨BIM/CIM活用効果定量的評価整理様式
- ⑩BIM/CIM適用業務における新たな見積り様式 説明書 様式・記載例
- ⑪BIM/CIM適用工事における新たな見積り様式 説明書(概要) 様式・記載例
- ⑫3次元モデル作成引継書シート
- ⑬3次元モデル照査時チェックシート
- ⑭BIM/CIM適用業務・工事における受発注者が提出すべき資料の段階フロー

黒字:更新なし

赤字:修正あり 青字:更新あり(時点修正)

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由
	頁	内容	頁	内容	
①	2	8. 適用時期 令和7年4月1日以降に入札契約手続きを開始する業務・工事から適用する。	2	8. 適用時期 令和8年4月1日以降に入札契約手続きを開始する業務・工事から適用する。	適用時期変更
②	2	4. 3次元モデルの作成 【解説】 詳細は取扱要領「2-3-1 3次元モデルと2次元の整合」「2-3-2 属性情報の活用」を参照すること。	2	4. 3次元モデルの作成 【解説】 詳細は取扱要領「2-3-1 3次元モデルと2次元の整合」「2-3-2 属性情報の活用」を参照すること。設計段階において2次元図面を作成後に3次元モデルを別途作成している場合の両者の整合確認方法は取扱要領「附属資料2」を参照すること。	BIM/CIM取扱要領の改定に伴う追記
	2	5. 3次元モデルの作成に必要な経費 【解説】 3次元モデルの作成等により生じた費用を計上するものである。施工計画の検討等については、従前から2次元図面の場合でも実施されており、すでに業務・工事に含まれている費用もあるため、二重計上しないように留意する。また、当該業務・工事以外にも使用するモデル作成のためのソフトウェア等は、諸経費等に含まれていることに留意する。 見積書は「BIM/CIM適用業務・工事における新たな見積り様式」を活用すること。	2	5. 3次元モデルの作成に必要な経費 【解説】 3次元モデルの作成等により生じた費用を計上するものである。施工計画の検討等については、従前から2次元図面の場合でも実施されており、すでに業務・工事に含まれている費用もあるため、二重計上しないように留意する。また、当該業務・工事以外にも使用するモデル作成のためのソフトウェア等は、諸経費等に含まれていることに留意する。 見積書は「BIM/CIM適用業務・工事における新たな見積り様式」を活用すること。 過年度のBIM/CIM適用業務・工事の見積り分析結果をBIM/CIMポータルサイトに掲載しているため、費用計上や妥当性確認の参考とすること。	BIM/CIM適用業務・工事の見積り分析結果について追記
	3	6. プロセスを横断したデータ連携 【解説】 (略) 例えば、土工形状モデルの納品にあたって、(略)	3	6. プロセスを横断したデータ連携 【解説】 (略) 例えば、土工モデルの納品にあたって、(略)	用語の修正（土工モデル）
	3	8. 適用時期 【解説】 令和7年4月1日以降に入札契約手続きを開始する業務・工事から適用することを基本とするが、令和7年3月31日以前に入札契約手続きを実施している業務・工事に適用してもよい。最新の情報はBIM/CIMポータルサイトで提供されているので、適宜参照すること。	3	8. 適用時期 【解説】 令和8年4月1日以降に入札契約手続きを開始する業務・工事から適用することを基本とするが、令和8年3月31日以前に入札契約手続きを実施している業務・工事に適用してもよい。最新の情報はBIM/CIMポータルサイトで提供されているので、適宜参照すること。	適用時期変更

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由
	頁	内容	頁	内容	
④	1	1. 3 BIM/CIM適用業務の確認 2) 実施報告書の記載内容の確認 ・実施概要、効果の結果等が記載されているか ・引継事項が記載されているか ・2次元図面と3次元モデルの整合に関する情報が記載されているか	1	1. 3 BIM/CIM適用業務の確認 2) 実施報告書の記載内容の確認 ・実施概要、効果の結果等が記載されているか ・引継事項が記載されているか ・3次元モデルと2次元図面の整合確認が必要か。必要な場合、BIM/CIM取扱要領「附属資料2 設計段階における3次元モデルと2次元図面の整合確認方法（案）」に基づき実施され、その内容を「3次元モデル作成引継書シート」および「3次元モデル照査時チェックシート」に記載されているか	BIM/CIM取扱要領の改定に伴う追記
	2	1. 3 BIM/CIM適用業務の確認 3) 電子成果品の納品内容の確認 (略) 土工形状モデル (略)	2	1. 3 BIM/CIM適用業務の確認 3) 電子成果品の納品内容の確認 (略) 土工モデル (略)	用語の修正 (土工モデル)
	2	3. 試行業務について 発注者指定型、受注者希望型を問わず、以下の内容について試行を積極的に実施すること。 ・3次元モデルと2次元図面の整合確認 (3次元設計) の試行 ・BIM/CIM積算の試行 ・橋梁下部工の連続性の確保の試行	2	3. 試行業務について 発注者指定型、受注者希望型を問わず、以下の内容について試行を積極的に実施すること。 ・BIM/CIM積算の試行 ・橋梁下部工の連続性の確保の試行	BIM/CIM取扱要領の改定に伴い、「3次元モデルと2次元図面の整合確認 (3次元設計) の試行」を削除
	3	5. 業務費の積算 (略)	3	5. 業務費の積算 (略) 過年度のBIM/CIM適用業務・工事の見積分析結果をBIM/CIMポータルサイトに掲載しているため、費用計上や妥当性確認の参考とすること。	BIM/CIM適用業務・工事の見積分析結果について追記

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由								
	頁	内容	頁	内容									
④	5	<p>(参考) 3次元モデル作成の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>詳細度</td> <td>200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル</td> </tr> <tr> <td>属性情報</td> <td>3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照)。なお、3次元モデルの属性情報を積算で活用する場合は、BIM/CIM取扱要領「附属資料3 積算での活用を目的とした3次元モデルの作成方法」を参照。</td> </tr> </table>	詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル	属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照)。なお、3次元モデルの属性情報を積算で活用する場合は、BIM/CIM取扱要領「附属資料3 積算での活用を目的とした3次元モデルの作成方法」を参照。	5	<p>(参考) 3次元モデル作成の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>詳細度</td> <td>200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル</td> </tr> <tr> <td>属性情報</td> <td>3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照)。なお、3次元モデルの属性情報を積算で活用する場合は、BIM/CIM取扱要領「附属資料4 積算での活用を目的とした3次元モデルの作成方法」を参照。</td> </tr> </table>	詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル	属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照)。なお、3次元モデルの属性情報を積算で活用する場合は、BIM/CIM取扱要領「附属資料4 積算での活用を目的とした3次元モデルの作成方法」を参照。	資料番号変更
	詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル											
	属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照)。なお、3次元モデルの属性情報を積算で活用する場合は、BIM/CIM取扱要領「附属資料3 積算での活用を目的とした3次元モデルの作成方法」を参照。											
	詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル											
属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照)。なお、3次元モデルの属性情報を積算で活用する場合は、BIM/CIM取扱要領「附属資料4 積算での活用を目的とした3次元モデルの作成方法」を参照。												
6	3 成果物の納品 3) (略) 土工形状モデル (略)	6	3 成果物の納品 3) (略) 土工モデル (略)	用語の修正 (土工モデル)									
6	4 貸与資料 本業務に関連する以下の業務等において作成した3次元モデルのデータ(3次元モデル作成引継書シートを含む)を貸与することができる。 ・ R5〇〇業務 ・ R6〇〇業務	6	4 貸与資料 本業務に関連する以下の業務等において作成した3次元モデルのデータ(3次元モデル作成引継書シートを含む)を貸与することができる。 ・ R6〇〇業務 ・ R7〇〇業務	時点修正									
8	<p>【該当する試行を実施する場合に記載する】 【特記仕様書(記載例)】 第〇〇条 3次元設計(コンクリート構造物)の試行 本業務は、3次元モデルと連動した2次元図面(構造一般図)を作成する3次元設計試行業務である。連動とは、詳細度 300 レベルにおいて3次元モデルと2次元図面の整合がとられていることを指し、3次元モデル及び2次元図面の作成方法は問わない。 連動している根拠について、発注者に説明を行うとともに、根拠を示す資料を成果物として納品する。なお、3次元モデルから切り出して2次元図面を作成した場合は、それをもって連動していることとする。 詳細について受発注者協議により決定するものとする。</p> <p>【該当する試行を実施する場合に記載する】 【特記仕様書(記載例)】 第〇〇条 3次元設計(土構造物)の試行 本業務は、3次元モデルと連動した2次元図面を作成する3次元設計試行業務である。連動とは、詳細度 300 レベルにおいて3次元モデルと2次元図面の整合がとられていることを指し、3次元モデル及び2次元図面の作成方法は問わない。 連動している根拠について、発注者に説明を行うとともに、根拠を示す資料を成果物として納品する。なお、3次元モデルから切り出して2次元図面を作成した場合は、それをもって連動していることとする。 3次元モデルと2次元図面との連動の対象とするのは土工部分のみとし、舗装・排水施設等の附属物、交差点・接続道路等の連続性が確保されない箇所については、連動は不要とする。また、3次元モデルの妥当性は2次元図面(断面図)を作成する箇所のみで確認する。 詳細について受発注者協議により決定するものとする。</p>			BIM/CIM取扱要領の改定に伴い、「3次元設計の試行」を削除									

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由
	頁	内容	頁	内容	
④	8	<p>【該当する試行を実施する場合に記載する】 【特記仕様書（記載例）】 第〇〇条 BIM/CIM 積算の試行 本業務は、3次元モデルで算出される数量を直接積算に活用する BIM/CIM 積算の試行業務である。試行内容は次の通りとし、試行対象など詳細は受発注者協議により決定するものとする。</p> <p>1 試行内容 （1）3次元形状データを作成し、オブジェクト分類名、3次元モデルから計測した数量、工事工種体系ツリーコード及び規格を属性情報として設定する。ソフトウェアの機能により IFC 形式のデータを出力する。 （2）IFC 形式のデータを出力する。 （3）「データ変換ツール」を使って、IFC 形式のデータを、設計数量管理機能に読み込み可能な数量データ（XML 形式）に変換し、設計数量管理機能に読み込む。 （4）変換した数量データ（XML 形式）を、受注者にて設計数量管理機能に読み込み、内容を確認する。（設計数量管理機能は国総研 HP からダウンロードする。設計数量管理機能の操作方法は、国総研 HP に掲載されている「設計数量管理機能（試行版）操作説明書」を参照する。） （5）変換した数量データ（XML 形式）は成果物として納品する。</p>	8	<p>【該当する試行を実施する場合に記載する】 試行対象工種：橋梁下部工、函渠工、場所打擁壁工、砂防堰堤工等 【特記仕様書（記載例）】 第〇〇条 BIM/CIM積算の試行 本業務は、3次元モデルで算出される数量を直接積算に活用するBIM/CIM積算の試行業務である。試行内容は次の通りとし、試行対象など詳細は受発注者協議により決定するものとする。</p> <p>1 試行内容 （1）3次元形状データを作成し、オブジェクト分類名、3次元モデルから計測した数量、工事工種体系ツリーコード及び規格を属性情報として設定する。 （2）ソフトウェアの機能によりIFC 形式のデータを出力する。 （3）「データ変換ツール」を使って、IFC 形式のデータを、設計数量管理機能に読み込み可能な数量データ（XML 形式）に変換し、設計数量管理機能に読み込む。 （4）変換した数量データ（XML形式）を、受注者にて設計数量管理機能に読み込み、内容を確認する。（設計数量管理機能は国総研HPからダウンロードする。設計数量管理機能の操作方法は、国総研HPに掲載されている「設計数量管理機能操作マニュアル」等を参照する。） （5）変換した数量データ（XML形式）は成果物として納品する。</p> <p>2 試行結果の報告 試行が終わり次第、結果を速やかに様式（別添一〇）にて発注へ報告すること。あわせて、属性情報を付与した3次元モデル（オリジナルデータ、IFC形式）及び設計数量管理機能の数量データ（XML形式）も提出すること。</p> <p>3 その他 ○データ変換ツール（設計数量管理機能用XML変換ツール）、工事工種体系ツリーコードデータ https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/standard_sekisan.html ※工事工種体系ツリーコードデータは、データ変換ツールに同梱されています ○設計数量管理機能、同マニュアル等 https://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/suryo/suryokanri.html ○BIM/CIM積算のためのモデル作成ガイドライン https://www.building-smart.or.jp/library/civil.html ○問合せ先 BIM/CIMポータルサイト問合せ窓口 hqt-nilim-portal-question@gxb.mlit.go.jp</p>	試行対象工種、試行結果の報告等を追記
			10	別添一〇 BIM/CIM積算試行業務報告書（例）	新規追加

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由								
	頁	内容	頁	内容									
⑤	2	4. 工事費の積算 (略)	2	4. 工事費の積算 (略) 過年度のBIM/CIM適用業務・工事の見積分析結果をBIM/CIMポータルサイトに掲載しているの、費用計上や妥当性確認の参考とすること。 (略)	BIM/CIM適用業務・工事の見積分析結果について追記								
	4	<p>(参考) 3次元モデル作成の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>詳細度</td> <td>200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル</td> </tr> <tr> <td>属性情報</td> <td>3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照)。</td> </tr> </table>	詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル	属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照)。	4	<p>(参考) 3次元モデル作成の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>詳細度</td> <td>200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル</td> </tr> <tr> <td>属性情報</td> <td>3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照)。</td> </tr> </table>	詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル	属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照)。	資料番号変更
	詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル											
	属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照)。											
詳細度	200~300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル~主構造の形状がわかるモデル												
属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照)。												
6	4 貸与資料 本工事に関連する以下の業務等において作成した3次元モデルのデータ(3次元モデル作成引継書シートを含む)を貸与することができる。 ・ R6〇〇業務	6	4 貸与資料 本工事に関連する以下の業務等において作成した3次元モデルのデータ(3次元モデル作成引継書シートを含む)を貸与することができる。 ・ R7〇〇業務	時点修正									
7	<p>【該当する試行を実施する場合に記載する】 【特記仕様書(記載例)】</p> <p>第〇〇条 設計データを工場製作で活用するデータ連携の試行工事 本工事は、受注者が希望する場合、発注者が貸与する自動設計・製図システムのオリジナルデータ一式(線形・解析・設計・製図データファイル及び数量データファイル)を工場製作で活用するデータ連携の試行を実施することができる。 ただし、発注者からのデータの貸与が困難な場合は、試行は実施しない。 試行内容は以下の通りであり、詳細について受発注者協議により決定するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動設計・製図システムのオリジナルデータを設計情報属性ファイル(日本橋梁建設協会及び建設コンサルタンツ協会が共同で開発した中間ファイルであり、最新の設計情報属性ファイル交換標準(案)に基づき作成されたもの)に変換する。 設計情報属性ファイルを活用して、自動原寸システムにより工場製作データを作成する。 自動設計・製図システム未反映箇所の補正を行い、工場製作データを完成する。 完成した工場製作データと、発注者の貸与した2次元図面とを比較する。 従来の原寸作業と今回のデータ連携による原寸作業の2ケースを実施して作業改善効果(作業日数等)を比較する。 <p>成果物の納品については、BIM/CIM 適用工事実施要領に基づくものとする。 試行の実施に要する費用について、契約変更の対象とする。</p>	7	<p>【該当する試行を実施する場合に記載する】 試行対象：コンクリート系床版を有する鋼鉄桁の道路橋 【特記仕様書(記載例)】</p> <p>第〇〇条 設計データを工場製作で活用するデータ連携の試行工事</p> <p>1 試行内容 本工事は、受注者が希望する場合、発注者が貸与する自動設計・製図システムのオリジナルデータ一式(線形・解析・設計・製図データファイル及び数量データファイル)を工場製作で活用するデータ連携の試行を実施することができる。 ただし、発注者からのデータの貸与が困難な場合は、試行は実施しない。 試行内容は以下の通りであり、詳細について受発注者協議により決定するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動設計・製図システムのオリジナルデータを設計情報属性ファイル(日本橋梁建設協会及び建設コンサルタンツ協会が共同で開発した中間ファイルであり、最新の設計情報属性ファイル交換標準(案)に基づき作成されたもの)に変換する。 設計情報属性ファイルを活用して、自動原寸システムにより工場製作データを作成する。 自動設計・製図システム未反映箇所の補正を行い、工場製作データを完成する。 完成した工場製作データと、発注者の貸与した2次元図面とを比較する。 従来の原寸作業と今回のデータ連携による原寸作業の2ケースを実施して作業改善効果(作業日数等)を比較する。 <p>2 試行結果の報告 試行が終わり次第、結果を速やかに報告すること。報告様式は別添-〇のとおりとする。</p> <p>3 費用負担について 試行の実施に要する費用は、工事受注者からの見積により契約変更で対応する。計上の方法は、直接原価のみを共通仮設費の技術管理費に積み上げ計上とすること。</p>	試行対象工種、試行結果の報告等を追記									

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由																																																																																			
	頁	内容	頁	内容																																																																																				
⑤			9	別添一〇 鋼橋のデータ連携試行工事 報告書	新規追加																																																																																			
⑥	4	4 3次元モデルを統合・管理する業務・工事 本業務に関連する以下の業務・工事等において作成した3次元モデルの統合・管理を予定している。 ・ R5〇〇業務 ・ R6〇〇工事	4	4 3次元モデルを統合・管理する業務・工事 本業務に関連する以下の業務・工事等において作成した3次元モデルの統合・管理を予定している。 ・ R6〇〇業務 ・ R7〇〇工事	時点修正																																																																																			
⑦	2	・基準類については、令和5年度に運用している資料を記載しているが、契約時点の最新版を確認すること。	2	・基準類については、BIM/CIMポータルサイトにて最新版を確認すること。	表現の修正																																																																																			
	18	基盤地図情報 (5mメッシュ地形データ)	18	基盤地図情報 (数値標高モデル)	1mメッシュ地形データの提供開始を踏まえた修正																																																																																			
	19	土工形状モデル	19	土工モデル	用語の修正 (土工モデル)																																																																																			
	22	4. ソフトウェア、データの種類 【受注者】 3次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類、3次元モデルの閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式等を記載する。 【記載例】 3次元モデル作成に用いるオリジナルデータ、及び成果物として納品する際のデータを下表に示す。 表・7 ファイル形式の一覧 <table border="1" data-bbox="367 995 815 1212"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>オリジナルファイルの形式</th> <th>標準的なデータ形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td>xml</td> <td>xml</td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td>dwg</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td>xml</td> <td>xml</td> </tr> <tr> <td>土工形状モデル</td> <td>xml</td> <td>xml</td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td>dwg</td> <td>ifc</td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td>nwd</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> また、それぞれのモデルの作成に用いたソフトウェア、閲覧ができるソフトウェアは次の通りである。 表・8 3次元モデルを扱うソフトウェアの一覧 <table border="1" data-bbox="262 1331 969 1540"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>作成に用いたソフトウェア</th> <th>閲覧ができるソフトウェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土工形状モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	3次元モデル	オリジナルファイルの形式	標準的なデータ形式	地形モデル	xml	xml	地質・土質モデル	dwg	-	線形モデル	xml	xml	土工形状モデル	xml	xml	構造物モデル	dwg	ifc	統合モデル	nwd	-	3次元モデル	作成に用いたソフトウェア	閲覧ができるソフトウェア	地形モデル			地質・土質モデル			線形モデル			土工形状モデル			構造物モデル			統合モデル			22	4. ソフトウェア、データの種類 【受注者】 3次元モデルの作成ソフトウェア、閲覧に利用可能なソフトウェア、および納品ファイル形式を記載する。 【記載例】 3次元モデルの作成ソフトウェア、および閲覧に利用可能なソフトウェアを下表に示す。 表・7 3次元モデルを扱うソフトウェアの一覧 <table border="1" data-bbox="1207 984 1872 1190"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>作成ソフトウェア</th> <th>閲覧ソフトウェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Autodesk Viewer</td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Navisworks</td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Navisworks</td> </tr> <tr> <td>土工モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Navisworks</td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td>Revit</td> <td>Autodesk Viewer</td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td>Navisworks</td> <td>Navisworks Freedom</td> </tr> </tbody> </table> 3次元モデルの納品ファイル形式を下表に示す。作成ソフトウェアのオリジナルファイル形式および交換標準ファイル形式 (J-LandXML、IFC 等) に区分して整理した。 表・8 納品ファイル形式の一覧 <table border="1" data-bbox="1207 1315 1872 1546"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>オリジナルファイル</th> <th>交換標準ファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td>dwg</td> <td>J-LandXML, LAS</td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td>dwg</td> <td>IFC, J-LandXML</td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td>dwg</td> <td>J-LandXML</td> </tr> <tr> <td>土工モデル</td> <td>dwg</td> <td>J-LandXML</td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td>dwg</td> <td>IFC</td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td>nwd</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	3次元モデル	作成ソフトウェア	閲覧ソフトウェア	地形モデル	Civil3D	Autodesk Viewer	地質・土質モデル	Civil3D	Navisworks	線形モデル	Civil3D	Navisworks	土工モデル	Civil3D	Navisworks	構造物モデル	Revit	Autodesk Viewer	統合モデル	Navisworks	Navisworks Freedom	3次元モデル	オリジナルファイル	交換標準ファイル	地形モデル	dwg	J-LandXML, LAS	地質・土質モデル	dwg	IFC, J-LandXML	線形モデル	dwg	J-LandXML	土工モデル	dwg	J-LandXML	構造物モデル	dwg	IFC	統合モデル	nwd	-
3次元モデル	オリジナルファイルの形式	標準的なデータ形式																																																																																						
地形モデル	xml	xml																																																																																						
地質・土質モデル	dwg	-																																																																																						
線形モデル	xml	xml																																																																																						
土工形状モデル	xml	xml																																																																																						
構造物モデル	dwg	ifc																																																																																						
統合モデル	nwd	-																																																																																						
3次元モデル	作成に用いたソフトウェア	閲覧ができるソフトウェア																																																																																						
地形モデル																																																																																								
地質・土質モデル																																																																																								
線形モデル																																																																																								
土工形状モデル																																																																																								
構造物モデル																																																																																								
統合モデル																																																																																								
3次元モデル	作成ソフトウェア	閲覧ソフトウェア																																																																																						
地形モデル	Civil3D	Autodesk Viewer																																																																																						
地質・土質モデル	Civil3D	Navisworks																																																																																						
線形モデル	Civil3D	Navisworks																																																																																						
土工モデル	Civil3D	Navisworks																																																																																						
構造物モデル	Revit	Autodesk Viewer																																																																																						
統合モデル	Navisworks	Navisworks Freedom																																																																																						
3次元モデル	オリジナルファイル	交換標準ファイル																																																																																						
地形モデル	dwg	J-LandXML, LAS																																																																																						
地質・土質モデル	dwg	IFC, J-LandXML																																																																																						
線形モデル	dwg	J-LandXML																																																																																						
土工モデル	dwg	J-LandXML																																																																																						
構造物モデル	dwg	IFC																																																																																						
統合モデル	nwd	-																																																																																						

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由																																																																																		
	頁	内容	頁	内容																																																																																			
⑧	2	・基準類については、令和5年度に運用している資料を記載しているが、契約時点の最新版を確認すること。	2	・基準類については、BIM/CIMポータルサイトにて最新版を確認すること。	表現の修正																																																																																		
	18	基盤地図情報（5mメッシュ地形データ）	18	基盤地図情報（数値標高モデル）	1mメッシュ地形データの提供開始を踏まえた修正																																																																																		
	19	土工形状モデル	19	土工モデル	用語の修正（土工モデル）																																																																																		
	22	<p>4. ソフトウェア、データの種類</p> <p>【受注者】 3次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類、3次元モデルの閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式等を記載する。</p> <p>【記載例】 3次元モデル作成に用いるオリジナルデータ、及び成果物として納品する際のデータを下表に示す。</p> <p style="text-align: center;">表-7 ファイル形式の一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>オリジナルファイルの形式</th> <th>標準的なデータ形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td>xml</td> <td>xml</td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td>dwg</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td>xml</td> <td>xml</td> </tr> <tr> <td>土工形状モデル</td> <td>xml</td> <td>xml</td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td>dwg</td> <td>ifc</td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td>nwd</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、それぞれのモデルの作成に用いたソフトウェア、閲覧ができるソフトウェアは次の通りである。</p> <p style="text-align: center;">表-8 3次元モデルを扱うソフトウェアの一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>作成に用いたソフトウェア</th> <th>閲覧ができるソフトウェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土工形状モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	3次元モデル	オリジナルファイルの形式	標準的なデータ形式	地形モデル	xml	xml	地質・土質モデル	dwg	-	線形モデル	xml	xml	土工形状モデル	xml	xml	構造物モデル	dwg	ifc	統合モデル	nwd	-	3次元モデル	作成に用いたソフトウェア	閲覧ができるソフトウェア	地形モデル			地質・土質モデル			線形モデル			土工形状モデル			構造物モデル			統合モデル			<p>4. ソフトウェア、データの種類</p> <p>【受注者】 3次元モデルの作成ソフトウェア、閲覧に利用可能なソフトウェア、および納品ファイル形式を記載する。</p> <p>【記載例】 3次元モデルの作成ソフトウェア、および閲覧に利用可能なソフトウェアを下表に示す。</p> <p style="text-align: center;">表-7 3次元モデルを扱うソフトウェアの一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>作成ソフトウェア</th> <th>閲覧ソフトウェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Autodesk Viewer</td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Navisworks</td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Navisworks</td> </tr> <tr> <td>土工モデル</td> <td>Civil3D</td> <td>Navisworks</td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td>Revit</td> <td>Autodesk Viewer</td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td>Navisworks</td> <td>Navisworks Freedom</td> </tr> </tbody> </table> <p>3次元モデルの納品ファイル形式を下表に示す。作成ソフトウェアのオリジナルファイル形式および交換標準ファイル形式（J-LandXML、IFC等）に区分して整理した。</p> <p style="text-align: center;">表-8 納品ファイル形式の一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>3次元モデル</th> <th>オリジナルファイル</th> <th>交換標準ファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形モデル</td> <td>dwg</td> <td>J-LandXML, LAS</td> </tr> <tr> <td>地質・土質モデル</td> <td>dwg</td> <td>IFC, J-LandXML</td> </tr> <tr> <td>線形モデル</td> <td>dwg</td> <td>J-LandXML</td> </tr> <tr> <td>土工モデル</td> <td>dwg</td> <td>J-LandXML</td> </tr> <tr> <td>構造物モデル</td> <td>dwg</td> <td>IFC</td> </tr> <tr> <td>統合モデル</td> <td>nwd</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	3次元モデル	作成ソフトウェア	閲覧ソフトウェア	地形モデル	Civil3D	Autodesk Viewer	地質・土質モデル	Civil3D	Navisworks	線形モデル	Civil3D	Navisworks	土工モデル	Civil3D	Navisworks	構造物モデル	Revit	Autodesk Viewer	統合モデル	Navisworks	Navisworks Freedom	3次元モデル	オリジナルファイル	交換標準ファイル	地形モデル	dwg	J-LandXML, LAS	地質・土質モデル	dwg	IFC, J-LandXML	線形モデル	dwg	J-LandXML	土工モデル	dwg	J-LandXML	構造物モデル	dwg	IFC	統合モデル	nwd	-
3次元モデル	オリジナルファイルの形式	標準的なデータ形式																																																																																					
地形モデル	xml	xml																																																																																					
地質・土質モデル	dwg	-																																																																																					
線形モデル	xml	xml																																																																																					
土工形状モデル	xml	xml																																																																																					
構造物モデル	dwg	ifc																																																																																					
統合モデル	nwd	-																																																																																					
3次元モデル	作成に用いたソフトウェア	閲覧ができるソフトウェア																																																																																					
地形モデル																																																																																							
地質・土質モデル																																																																																							
線形モデル																																																																																							
土工形状モデル																																																																																							
構造物モデル																																																																																							
統合モデル																																																																																							
3次元モデル	作成ソフトウェア	閲覧ソフトウェア																																																																																					
地形モデル	Civil3D	Autodesk Viewer																																																																																					
地質・土質モデル	Civil3D	Navisworks																																																																																					
線形モデル	Civil3D	Navisworks																																																																																					
土工モデル	Civil3D	Navisworks																																																																																					
構造物モデル	Revit	Autodesk Viewer																																																																																					
統合モデル	Navisworks	Navisworks Freedom																																																																																					
3次元モデル	オリジナルファイル	交換標準ファイル																																																																																					
地形モデル	dwg	J-LandXML, LAS																																																																																					
地質・土質モデル	dwg	IFC, J-LandXML																																																																																					
線形モデル	dwg	J-LandXML																																																																																					
土工モデル	dwg	J-LandXML																																																																																					
構造物モデル	dwg	IFC																																																																																					
統合モデル	nwd	-																																																																																					

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由
	頁	内容	頁	内容	
⑧	25	<p>7. 後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等）</p> <p>7.1 3次元モデルの後段階への引継事項</p> <p>【受注者】</p> <p>作成した3次元モデルを後段階で活用する際の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合に関する情報等を引継事項として記載する。例えば、修正設計で2次元図面を更新したものの、3次元モデルの活用内容以外となるため3次元モデルの更新を行わなかった場合は、2次元図面と3次元モデルの整合に関する情報を記載する。その際の、3次元モデル活用時の注意点も記載する。</p> <p>本業務で作成した2次元図面と3次元モデルとでは整合が図られていないことから、後段階での活用においては、以下の点に注意する必要がある。</p> <p>【具体的な内容を記載】</p>	25	<p>7. 後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等）</p> <p>7.1 3次元モデルの後段階への引継事項</p> <p>【受注者】</p> <p>作成した3次元モデルを後段階で活用する際の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合に関する情報等を引継事項として記載する。例えば、修正設計で2次元図面を更新したものの、3次元モデルの活用内容以外となるため3次元モデルの更新を行わなかった場合は、2次元図面と3次元モデルの整合に関する情報を記載する。その際の、3次元モデル活用時の注意点も記載する。</p> <p>・BIM/CIM 取扱要領「附属資料2 3次元モデルと2次元図面の整合確認方法」に基づく整合確認を実施した場合</p> <p>【記載例】</p> <p>本業務では、BIM/CIM 取扱要領「附属資料2 3次元モデルと2次元図面の整合確認方法」に基づき、主要構図部の整合確認を実施した。具体には、「3次元モデル引継書シート」に示す正面図、平面図、側面図の構造物外形線と3次元モデルの外形線が一致することを確認した。</p> <p>・整合確認を実施していない箇所がある場合</p> <p>【記載例】</p> <p>本業務で作成した3次元モデルと2次元図面は整合確認を実施していない箇所があり、後段階での活用においては、以下の点に注意する必要がある。整合を確認していない箇所の詳細は「3次元モデル引継書シート」に記載した。</p>	BIM/CIM取扱要領の改定に伴い、記載例の修正
⑩		様式・記載例		様式・記載例	設計業務委託等技術者単価の更新
⑪	12	<p>8. ソフトウェアやPCの調達費用について</p> <p>【解説】</p> <p>ソフトウェアやPCは汎用的に利用できるためBIM/CIMとして費用計上は行わない（国土技術政策総合研究所のDXデータセンターで利用されている有償ソフトウェアの利用料も費用計上は行わない）。</p>	12	<p>8. ソフトウェアやPCの調達費用について</p> <p>【解説】</p> <p>ソフトウェアやPCは汎用的に利用できるためBIM/CIMとして費用計上は行わない。</p>	受注者が利用する領域は令和7年度で廃止するため「DXデータセンター」に関する記述を削除
	17	13. 用語集			用語の定義はBIM/CIM取扱要領に集約するため削除
		様式・記載例		様式・記載例	設計業務委託等技術者単価の更新

資料	令和7年度実施方針		令和8年度実施方針		理由																			
	頁	内容	頁	内容																				
⑫		土工 形状 モデル		土工モデル	用語の修正（土工モデル）																			
				別紙 設計段階の3次元モデルと2次元図面の整合確認 別紙 設計段階の3次元モデルと2次元図面の整合確認 <table border="1"> <thead> <tr> <th>3次元モデル(ファイル名)</th> <th>確認年月日</th> <th>整合している2次元図面(ファイル名)</th> <th>2次元図面の選定理由(活用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>例)A-1橋台モデル(構造物モデル.ifc)</td> <td>2026/7/22</td> <td>A-1橋台構造図+正面図、側面図、平面図(A1橋台構造図.dwg)</td> <td>設計数量を算出し積算に活用するため。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	3次元モデル(ファイル名)	確認年月日	整合している2次元図面(ファイル名)	2次元図面の選定理由(活用目的)	例)A-1橋台モデル(構造物モデル.ifc)	2026/7/22	A-1橋台構造図+正面図、側面図、平面図(A1橋台構造図.dwg)	設計数量を算出し積算に活用するため。												
3次元モデル(ファイル名)	確認年月日	整合している2次元図面(ファイル名)	2次元図面の選定理由(活用目的)																					
例)A-1橋台モデル(構造物モデル.ifc)	2026/7/22	A-1橋台構造図+正面図、側面図、平面図(A1橋台構造図.dwg)	設計数量を算出し積算に活用するため。																					
⑬	1	3次元モデルが正しく作成されていることを確認する場合 ⑦ 参照資料 外部参照資料のリンクが切れていないか確認したか	1	3次元モデルが正しく作成されていることを確認する場合 ⑦ 動作確認 作成者以外のPC環境下で動作し、外部参照資料のリンクが切れていないか確認したか	3次元モデル作成者以外のPC環境下での動作確認を追加																			
	1	3次元モデルが正しく作成されていることを確認する場合 ⑧データ変換 J-LandXMLデータに変換されたことを確認したか	1	3次元モデルが正しく作成されていることを確認する場合 ⑧データ変換 土工モデルの納品について、オリジナルファイルの他、中心線形データと、横断形状の変化する箇所の横断形状データがJ-LandXMLデータに変換されたことを確認したか	表現の修正																			
	1	3次元モデルと2次元図面の整合を確認する場合（上記の追加分として実施）	1	3次元モデルと2次元図面の整合を確認する場合（上記の追加分として実施） ② 引継事項 「3次元モデル引継書シート」に整合確認を実施した2次元図面の名称と当該図面の選定理由を記載したか。	BIM/CIM取扱要領の改定に伴い、追加																			
	2	電子成果品が正しく作成されていることを確認する場合 ④IFC、J-LandXML オリジナルデータの他、IFCやJ-LandXML等の標準的なデータ形式で納品する3次元モデルは、標準的なデータ形式も格納されているか 土工形状モデルの納品について、オリジナルデータの他、中心線形データと、横断形状の変化する箇所の横断形状データをJ-LandXMLで出力したものが格納されているか	2	電子成果品が正しく作成されていることを確認する場合 ④IFC、J-LandXML オリジナルファイルの他、交換標準ファイル（IFCやJ-LandXML）で納品する3次元モデルは、交換標準ファイルも格納されているか	表現の修正																			